【知的障がい】
（道北圏）

普通科のみを設置する知的障がいの特別支援学校

上川管内

北海道鷹栖養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

□　住　　所　〒071-1233　鷹栖町北野西３条２丁目１番１号
□　問 合 せ 先　ＴＥＬ　０１６６－８７－２２７９
　　ＦＡＸ　０１６６－８７－２２６１
　　E-mail　takasuyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
□　学校Webページ　http://www.takasuyougo.hokkaido-c.ed.jp

■本校の概要

□　**学校教育目標**

「社会の中で協力し、豊かに生きる人を育てる」

〈目指す人の像〉

「健康でいきいきと活動する人」　「人とかかわり、思いを伝えあう人」

「自分で考え判断し、行動する人」「目標に向かって意欲的に取り組む人」

□　**概　　要**

本校は昭和54年４月に、知的障がいのある児童生徒を対象として開校し、平成10年４月に高等部普通科が設置されました。今年で46年目を迎える知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。生徒やその保護者が障がいの程度ではなく、将来の進路希望等に応じて、教育課程の特色や学ぶ内容によって学校を選択することができるという基本的な考え方を基に、一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動を展開しています。

卒業生の多くは、地域の理解や協力を得ながら、鷹栖町や旭川市とその近郊の施設や福祉事業所で活躍しています。

遠隔地に居住する生徒のための寄宿舎では、寄宿舎の生活を通して相互に助け合い、認め合い、明るく健康に生活する力を育てています。

■特色ある教育活動

【高等部の教育目標】

地域の中で共に　いきいきと生活する力を育てる

【高等部　目指す人の像】

○　健康な体で活動する人
○　様々な人と関わることができる人
○　自分でできること、すべきことを行う人
○　活動に意欲をもって取り組む人

【６つの具体的な力（育てたい力）】

○　体を動かす力
○　人と関わる力
○　社会経験を広める力
○　自分の身の回りのことを自分でする力
○　意欲的に取り組む力
○　働く力

卒業後の生活を見据え、生徒個々の実態やニーズに合わせて、家庭と協力しながら生徒のもてる力を伸ばしていきたいと考えています。卒業後の進路については、本人、保護者が適切な進路選択が行えるよう、定期的に保護者懇談を実施するほか、進路説明会における福祉制度の説明、事業所見学などを行っています。

サークル活動

作業学習

製品販売Ⅱ（永山イオン店）

現場実習

見学旅行（東京）

体力つくり（歩くスキー）

■令和７年度の週時程表

		月	火	水	木	金
1	8:50 ～ 9:25	日常生活の指導				
2	9:25 ～ 10:30	体つくり				
3	10:30 ～ 11:30	作業学習	作業学習	LHR	作業学習	生活単元学習
4	11:30 ～ 12:20	日常生活の指導		日常生活の指導		
	12:20	給食				
5	12:50	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
	13:00 ～ 13:50	作業学習	作業学習		総合的な探究の時間	作業学習
6	13:50 ～ 14:40	日常生活の指導	日常生活の指導	下校13:30	日常生活の指導	日常生活の指導
	14:45	下校			下校	

＊　登校時間　　８：４５（月～金）
＊　下校時間　１４：４５（月・火・木・金）
　　１３：３０（水）

■教育課程の特徴

生徒が見通しをもち、主体的に準備や活動を行えるよう、「人と関わる力」や「意欲的に取り組む力」を高める指導を行います。

□　日常生活の指導
　食事、衣服、排せつ、清潔、掃除に関することなど、「自分の身の回りのことを自分でする力」を高めます。

□　作業学習
　様々な作業種の中から、一人一人に合わせた作業内容を設定し、「働く力」や「体を動かす力」を高めます。年２回の製品販売会に向けた製品作りに取り組んでいます。

□　生活単元学習
　将来、社会で生活する上で必要となる「集団で行動する力」や「人と関わる力」、「意欲的に取り組む態度」を身に付けられるよう、年間の学習（入学・進級、製品販売会、調理学習、卒業・進級など）に沿って単元を構成しています。

□　自立活動の指導
　自立と社会参加に向けて「身体の動き」「コミュニケーション」「人間関係の形成」等について、体つくりや作業学習など教育活動全体の中で生徒個々の目標や実態に応じた指導を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和６年度実績）

□　福祉的就労【就労継続支援B型８名、生活介護５名】～計１３名

学校Webページ

普通科のみを設置する知的障がいの特別支援学校

上川管内

北海道東川養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

□　住　　所　〒071-1414　上川郡東川町新栄南１丁目２-５
□　問　合　せ　先　ＴＥＬ　０１６６－８２－４５８６
ＦＡＸ　０１６６－８２－４５８７
E-mail　higashikawayougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
□　学校Webページ　http://www.higashikawayougo.hokkaido-c.ed.jp

■本校の概要

□　**学校教育目標**

「心豊かに　たくましく　生きる力を育てる」
自ら考えて　生活する力
ゆたかな心で　協働する力
たくましい体で　活動する力

□　**校　　訓**

「健康な子」　「明朗な子」　「考える子」

□　**概　　要**

本校は昭和58年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。発達や認知の特性等を踏まえ、地域での学びや体験的な学習などにより、卒業後の自立と社会参加を目指し、「丈夫な体をつくる」「いろいろな人と関わりあえる」「働く喜びを感じられる」力を養うための教育を行っています。寄宿舎では、家庭、学校、関係機関と連携し、舎生一人一人の障がい等の実態を把握し、職員間で共通理解するとともに、基本的生活習慣の確立や社会性の向上を図る指導を行っています。

■特色ある教育活動

＜学校教育目標（具体像）＞	＜高等部教育目標＞
自ら考えて　生活する力	・自己実現に向けて　主体的に取り組む生徒
ゆたかな心で　協働する力	・互いの良さを認め　助け合う生徒
たくましい体で　活動する力	・たくましい体と健やかな心で　やりぬく生徒

【　体力つくり（保健体育）　】

夏季にランニングやウォーキング、冬季にサーキット運動やエアロビクスダンス、屋外での歩くスキーなどに取り組みます。

【　作業学習　】

窯業班、紙工班、農耕園芸班、縫工班に分かれて活動を行います。卒業後の生活に向けた力や態度を培うため、地域の公共施設などでの清掃活動にも取り組みます。

【　選択授業　】

卒業後の地域生活を豊かにする力を育てることをねらいに、音楽、美術、保健体育の選択教科を設定しています。また、一人一人の障がいやニーズに応じた課題学習では、国語・数学や自立活動から必要な内容を選択して学習を行っています。

歩くスキー大会

作業学習

自立活動

見学旅行

強歩マラソン大会

ALTとの交流学習

■第１学年生徒の週時程表

【　普通科　】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導・自立活動				
2	体力つくり				
3	作業学習	作業学習	国語・数学／自立活動	作業学習	作業学習
4			特別活動		
	日常生活の指導・給食				
5	国語・数学／自立活動	作業学習	日生	音楽 美術 体育	国語・数学／自立活動
6	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	日常生活の指導

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

＊　登校時間　　８：45～８：55（月～金）
＊　下校時間　　15：00（月・火・木・金）／13：30（水）

■教育課程の特徴

日常生活の指導や作業学習を中心として教育課程を編成しています。

また、豊かな社会生活を送る力を身に付けるため、興味・関心等に基づいて、生徒が音楽、美術、保健体育を選択して学ぶことができるようにするなど、生徒一人一人の実態や特性に応じた学習活動に取り組んでいます。

□　現場実習

働くことを知り、働くことを通して喜びや達成感を味わうことができるよう、各学年で現場実習を実施しています。第１学年は町内にある森林公園や役場周辺の環境整備を行い、第２、３学年は一般企業や福祉事業所で実際に働く体験をしています。特に第3学年では、卒業後の進路を見据えて実習先を選び、進路決定に向けて現場実習に取り組んでいます。

■卒業後の主な進路先について（令和６年度実績）

□　福祉的就労～７名【就労移行支援、就労継続支援Ｂ型、生活介護】

学校Webページ

職業学科と普通科を設置する知的障がいの特別支援学校

上川管内

北海道旭川高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

□　住　　所　〒070-0055　旭川市５条西５丁目
□　問 合 せ 先　ＴＥＬ　０１６６－２９－５５７５
　　ＦＡＸ　０１６６－２９－５５７６
　　E-mail　asahi-koushi-z0@hokkaido-c.ed.jp
□　学校Webページ　http://www.asahi-koushi .hokkaido-c.ed.jp

■本校の概要

□　**学校教育目標**
「たくましく社会を生き抜く生徒を育てる」

□　**校　　訓**
「しなやかな心」「やりぬく力」

□　**概　　要**
本校は平成28年に開校した、知的障がいのある生徒が在籍する高等支援学校です。変化が激しく厳しい社会においても、自立した生活ができる生徒を育てることを目標としています。将来社会に貢献する人材の育成を目指した環境・流通サポート科、福祉サービス科、生産技術科と、専門学校等への進学も視野に入れて各教科の学習を中心に取り組む普通科を設置しています。生徒は公共交通機関等を利用して通学しています。

■特色ある教育活動

１ 社会的・職業的自立に向けたキャリア発達を支援する。【学びに向かう力・人間性等】
２ 社会や生活で生きて働く知識及び技能を育てる。【知識・技能】
３ 柔軟な思考力・善悪を誤らない判断力・豊かな表現力を育てる。【思考力・判断力・表現力】
４ 家庭、医療、福祉等と連携し、望ましい生活習慣及び社会性を養う。

【　環境・流通サポート科　】
清掃分野では、テーブルや窓などの拭き清掃、床の除塵、水拭き清掃、ポリッシャーを使用した床磨き洗浄などの専門的な知識や技術を学び、校内清掃の学習を行います。
流通分野では、流通業やサービス業の役割、ビジネスマナーなどについて学びます。

【　福祉サービス科　】
介護・生活援助分野では、移動介助、手浴・ハンドトリートメント、居宅清掃、被服の補修、調理など、介護や生活支援の基礎的な知識、技術をとおして職業自立、社会自立に向けた学習をします。
接客分野では、喫茶サービスに取り組み、基本的な礼節やコミュニケーションについて学習します。

【　生産技術科　】
木工製品の製作ではコースターやメジャースプーンなどコーヒーに関わる製品の製作、コーヒーを教材とした授業では外部講師を招きオリジナルブレンドの焙煎やおいしい淹れ方の学習をしています。園芸では野菜の栽培やコーヒー廃材を利用したたい肥作りなどの学習に取り組んでいます。

【　普通科　】
進学を含めた幅広い進路選択を想定し、国語や数学などの各教科の内容を中心に学習しています。職業の授業では、インターンシップを計画的に行い、将来の職業自立のための実践的な力を身に付ける学習をします。
※３年次には、希望する進路先に応じたコース選択で学習をします。

環境・流通サポート科：高窓清掃

福祉サービス科：車いす介助

生産技術科：コーヒー焙煎

各教科の学習

セルフプロデュース（課題別）

現場実習・インターンシップ

■第１学年生徒の週時程表

【　職業学科　】

	月	火	水	木	金
1	セルフプロデュース		国語	セルフプロデュース	
2	作業学習	作業学習	情報	理科	音楽
3			数学/保健体育	作業学習	外国語
4			保健体育		LHR
5	家庭科/美術	家庭科/美術	作業学習	国語	
6	社会	職業		数学	

【　普通科　】

	月	火	水	木	金
1	セルフプロデュース		情報	セルフプロデュース	
2	社会	数学	国語	国語	音楽
3	家庭	職業	美術/保健体育	外国語	美術
4	数学	外国語	保体	美術	LHR
5	音楽	理科	家庭	社会	
6	職業	家庭		理科	

＊「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

＊　登校時間　　８：２５（月～金）

＊　下校時間　１５：３０（月～木）／１３：３５（金、水《隔週》）

■教育課程の特徴

□　自立活動（セルフプロデュース）【共通】

～個別学習～

担当教諭と２週間に１回実施する個別面談では、生徒自身が描いた将来像の実現に必要な力を考え、目標を設定しています。

～課題別学習～

障がいによる学習上又は生活上の困難さをweak point、strong pointの双方の視点から捉え、改善・克服するために必要な知識や技能、態度及び習慣を養う学習を行います。

□　他学科作業　【職業学科】

所属する学科以外の作業学習を週２時間行います。様々な作業種を体験することで、作業経験の拡大を図り、職種への適性を知るきっかけとします。

□　基礎的・基本的な学力の定着　【共通】

入学当初に基礎学力を把握するテストを行い、習熟度に応じて学習集団を編制します。定期考査を実施し、生徒が学びの成果を確認できるようにしています。

□　部活動

バスケットボール、陸上、卓球、総合運動、パソコン、文化など、放課後に部活動を行っています。種目によっては、障がい者スポーツ大会や高文連、高体連の大会に参加しています。

■卒業後の主な進路先について（令和６年度実績）

□　一般就労　１６名

□　福祉的就労　６名　┬　就労継続支援(Ａ型)０名　　就労継続支援(Ｂ型)２名

□　生活介護　０名　　┴　就労移行支援　　４名

□　進　　学　６名

□　そ の 他　３名

学校Webページ

上川管内

北海道美深高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

□　住　　所　〒098-2252　中川郡美深町字西町２５番地
□　問 合 せ 先　ＴＥＬ　01656－2－2155
　　ＦＡＸ　01656－2－2156
　　E-mail　bifukakoutouyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
□　学校Webページ　http://www.bifukakoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp

■本校の概要

□　**学校教育目標**
「社会的に自立できる、心身ともに健全な生徒を育成する。」

□　**校　　訓**
「強く　正しく　和やかに」

□　**概　　要**
本校は昭和５９年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。知的障がいのある生徒の学習上の特性を踏まえ、各教科等の学習や作業学習等をとおして、卒業後に自立し社会参加する力や、自分らしくより良く生きる力を養うことを目指した教育を行っています。寄宿舎では、集団生活をとおして、社会生活に必要な力の定着を図っています。

■特色ある教育活動（設置学科：木工科、工業科、被服デザイン科、農業科、窯業科、食品デザイン科）

自分らしくより良く生きる力の育成
美高養版：自立につながる三技能　～働く力　生活する力　心を豊かにする力～

【　特設実習　】
所属する学科の実習だけでは得られない体験をしたり、同じ課題や目標をもった生徒が、互いに切磋琢磨したりすることで、「働く力」を効果的に身に付けられるよう、学年や発達の段階に応じた学習集団を編制した実習に取り組んでいます。

○　他学科実習（第１学年）
所属する学科以外の実習に取り組むことで、様々な作業種を経験し、関心を高めます。また、自分の能力を知り、仕事の適性を探るきっかけとすることを目的としています。

○　課題別実習（第２学年）
同じ課題や目標をもった集団の中で実習に取り組むことで、新たな自己の課題を認識し、改善を図り、目標の達成に向けて主体的に取り組むことを目的としています。

○　進路先別実習（第３学年）
進路先及び職種に応じた実習に取り組むことで、卒業後の生活のイメージをもつことや、現場実習及び社会自立に向けた意欲の向上を図ることを目的としています。

【　体力つくり　】
自分自身の身体を理解することや、社会自立に必要な体力（身体的・精神的）を身に付けることを目標とし、グループ別に持久走やリズム運動、筋力トレーニングなどを行っています。

【　集中作業（除雪作業）　】
１学年及び２学年の生徒が、１月と２月に３日間ずつ美深町内の高齢者住宅の除雪作業を行います。奉仕活動をとおして、勤労観や職業観を身に付けることを目的としています。

【　集中作業（名寄販売会）　】
３学年の生徒が、２月に名寄市の量販店で各学科の製品販売を行います。販売活動をとおして、働くことに必要な勤労観や職業観を身に付けたり、働くことに喜びを感じたりすることで、適切な社会自立への移行を図ります。

木工科

工業科

被服デザイン科

農業科

窯業科

食品デザイン科

■第１学年生徒の週時程表

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
学科	木工 工業 農業	被服 窯業 食品	木工 工業 農業	被服 窯業 食品	木工 工業 農業	被服 窯業 食品	木工 工業 農業	被服 窯業 食品	木工 工業 農業	被服 窯業 食品
1	社　会		体力つくり	体力つくり	数　学		体力つくり	体力つくり	他学科実習	他学科実習
2	自学科実習	自学科実習	家庭	音楽	自学科実習	自学科実習	自学科実習	自学科実習		
3			美術	体育					LHR	LHR
4			保健／職業							
5	理　科		情　報		体育	美術	国　語			
6	道　徳		音楽	家庭		保健／職業	英　語			

※総合的な探究の時間は、特定の時期に実施。

※部活動は、月曜日と木曜日の放課後に実施。

◆登校時間
・８時１５分（月曜日～金曜日）

◆下校時間
・１５時２０分（月曜日～木曜日）
・１２時４５分（金曜日）

■教育課程の特徴

各教科の学習や実習、体力つくりを効果的に配置した教育課程を編成しています。各教科の学習では、習熟度別のグループを編制し、生徒個々の実態や特性に応じた指導を行います。働くために必要な知識や技術の習得とともに、体力の向上にも力を入れています。

□ 自立活動の指導
全ての教育活動を通じて指導しています。学校生活をとおして、コミュニケーション力や人間関係を形成する力などを育みます。

□ 働く力の育成
実習（所属する学科の実習や特設実習、現場実習など）を中心に、判断力や責任感、自己有用感など、働くために必要な力を高める学習を行います。

□ 生活する力の育成
各教科の学習を中心に、読み書きや計算、公共施設の利用など、生活するために必要な力を高める学習を行います。「情報科」の学習では、ＩＣＴ機器の操作や情報モラルの学習も行います。

□ 心を豊かにする力の育成
道徳の授業を中心に、各教科等（音楽、美術、体育など）や体力つくりなど、生活を豊かにする学習を行います。

■卒業後の主な進路先について（令和６年度実績）

□　一般就労　～４名【小売業、物流業、漁業など】
□　福祉的就労（就労移行支援／就労継続Ｂ型／生活介護）～１９名
□　そ　の　他～　３名

学校Webページ

上川管内

北海道美深高等養護学校あいべつ校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■　学校の基本情報

□　住　　所　〒078-1403　上川郡愛別町字南町27番地
□　問 合 せ 先　ＴＥＬ　０１６５８－６－５８１１
　　ＦＡＸ　０１６５８－６－５８１２
　　E-mail　aibetsukou-z0@hokkaido-c.ed.jp
□　学校Webページ　http://www.aibetsukou .hokkaido-c.ed.jp

■　本校の概要

□　**学校教育目標**
「自分らしく、よりよく生きる人を育てる」

□　**校　　訓**
「思考・実践」

□　**概　　要**
本校は平成26年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした高等支援学校です。
各種製品の製造、清掃等の環境づくり、食堂サービスでの調理や接客などを組み合わせた学習をとおして、勤労体験を豊かにし、その意義について理解を深めるとともに、職業自立など社会自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、実践的な態度を育てます。

■特色ある教育活動

自分らしく、よりよく生きる人を育てる

【　産業総合科　】
キャリア発達の視点に立ち、生徒一人一人の職業的自立に向け、課題を明らかにしながらその解決を図ることができる指導に努めています。
作物の栽培や加工（食品乾燥）、食堂サービス（調理・接客・経営）、木工製品の製造、清掃、印刷等の学習を行っています。系統的・継続的な学習や、体験を重視した学習を展開することで、生徒の自立と社会参加を促します。

【　作業学習　】
食品、流通・サービス分野と栽培、加工、製作分野の２つに分け、第２学年までに両方の分野を学習します。第３学年では、卒業後の進路等を見据え、どちらかの分野を選択し、学習します。選択に際しては、生徒との面談をとおして決定します。

【　あいべつ校デュアルシステム　】
愛別町をはじめ、近郊市町の企業等と連携し、校内での作業学習と並行して、企業での作業学習を行います。第１学年は10月から２月までの５か月間、第２学年は６月から７月までの２か月間の毎週火曜日に実施しています。取組の評価や課題等については、翌日に振り返る時間を設定するなど、次週の企業での作業学習や校内での作業学習に生かします。

【　地域と連携した学習　】
町内のイベントに協力員として参加したり、町内施設の清掃や町営団地の除雪を行ったりするなど、地域に根ざした教育活動に取り組んでいます。

作業学習：清掃作業

作業学習：食堂サービスでの接客

作業学習：木工作業

作業学習：食品乾燥作業

企業での作業学習

作業学習：除雪作業

■第１学年生徒の週時程表

【　産業総合科　】

	月	火		水	木	金
	SHR	SHR	企業内作業学習	SHR	SHR	SHR
1	音楽	体力つくり		LHR	体力つくり	体力つくり
2	情報	作業学習		職業/家庭	社会	外国語
3	保健体育			理科	作業学習	作業学習
4				数学		
5	作業学習	作業学習		国語 特別活動	書写	道徳 (国語)
6				SHR		SHR
	SHR	SHR		部活動	SHR	部活動

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施
○　水曜日の５校時は、月に１回、生徒会活動や全校集会などの特別活動を行います。
○　木曜日の午後は、第１学年が書写、第２学年が美術を行います。
○　第１学年は、10月から１月の４か月間、毎週火曜日に、作業学習：企業内作業学習として、町内の各企業等で作業学習を行います。

※　登校時間　　８：２５（月～金）
※　下校時間　１５：２０

■教育課程の特徴

□　あいべつ校デュアルシステム
「あいべつ校協力会」を設立し、愛別町の関係機関と連携して、キャリア教育の推進に向けて、学校と企業が両輪となって学習活動に取り組みます。

□　各教科の学習
新しい学習指導要領の趣旨を踏まえ、キャリア発達の視点から、育成を目指す資質・能力を明確にし、卒業後の生活に必要な力を身に付けることができるよう、「主体的・対話的で深い学び」となる授業を行います。

□　総合的な探究の時間
北海道鷹栖養護学校や北海道旭川農業高等学校との交流及び共同学習をとおして、自己や他者への理解を促し、相手を思いやる気持ちや豊かな人間性を育みます。
また、あいべつ「きのこの里」フェスティバルでは、協力員として参加し、業務を担当したり、地域住民や来場者と交流を図ったりして、共生社会の実現に向けた取組を推進します。

□　自立活動の指導
作業学習や体力つくりのほか、生徒それぞれの生活環境や障がいの程度、特性等を見極め、給食を含めた全教育活動において自立や社会参加に向けた指導を行います。

■　卒業後の主な進路先について（令和６年度実績）

□　一般就労～　７名【小売り業、製造業、建設業、飲食サービス業】
□　福祉就労～　６名【B型事業所】

学校Webページ

留萌管内

北海道小平高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

□ 住　　所　〒078-3442　留萌郡小平町字鬼鹿田代577番地２
□ 問 合 せ 先　ＴＥＬ　０１６４－５７－１２０３
ＦＡＸ　０１６４－５７－１２０４
E-mail　onne@hokkaido-c.ed.jp
□ 学校Webページ　http://www.obirakoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp/

■本校の概要

□ 校　　訓

『笑顔・助け合い・学び合い』

□ 学校教育目標

～夢に向かって挑戦し未来を切り拓く人を育てる～

夢の実現に向けて目標をもち、何事にも挑戦し、一人一人の違いを理解し自分の考えを伝え、意見や理解の相違を解決し、他者と協働し社会に参加し、貢献する生徒の育成。

□ 概　　要

小平町鬼鹿地区に所在する本校は、自立と社会参加を目指し、地域に貢献する人材の育成を目指し、特色ある教育活動を推進しています。主体的に考え挑戦する生徒、他者を尊重する生徒、他者と協働し社会に参加する生徒を育成するため、３年間で育成する資質・能力を次のように定めて教育活動に取り組んでいます。

情報を収集する力・コミュニケーション力・協働する力
他の人を理解する力・自己を理解する力・地域で生活する力

□ アドミッション・ポリシー（入学する生徒像に関する方針）

特別支援学校高等部における学習内容を理解し、学ぶ意欲がある生徒

■特色ある教育活動

１ 自立と社会参加を目指し地域に貢献するために必要な力を育成することを目指し、生徒の実態に応じた指導を徹底します。
２ ICTを活用した多様な学び（授業・寄宿舎・居住地）の実現を推進します。
３ 寄宿舎の教育活動が未来の生活につながるよう、地域を活用した「魅力ある寄宿舎」を構築します。

【　現場実習　】

卒業後の自立と社会参加に必要な力を育成するため、生徒の適性を探り、将来生き生きと働く生活を送ることができるよう、指導を行っています。第１学年は、９月末に４日間（鬼鹿地区中心）第２学年第Ⅰ期は、５月末に４日間（留萌市中心）、第２学年第Ⅱ期は、９月中旬に２週間（居住地や進路希望地）、第３学年（前提実習）は、９月に約１か月間の現場実習を行っています。実習前には、実習に臨む意識を高めるため、決意発表会を行ったり、実習後には、自己の成長への気付きを促し今後の課題を明らかにするため、報告会を行ったりしています。

【　作業学習　】

卒業後の社会生活を見据え、仕事に対する意欲や態度、コミュニケーション力など、働く上で必要な力の育成をねらい、総合的な探究の時間と同様に教育課程の中心に位置付けています。

第１学年は週９時間、第２、３学年は週10時間、在籍する学科での作業を行い、異学年との合同作業をとおして「コミュニケーション力」や、「協働する力」を育成しています。

他学科での作業１・２学年）では、普段の学習で培った働く力を「試す場・力を評価する場」であることを意識し、終日作業では、一日をとおして働く経験を積み、より実社会での労働に近づけた形態で取り組んでいます。

木工科:木工製品の製作

窯業科:陶芸製品の製作

総合学習:鬼鹿厳島神社祭への参加

保健体育:
地域講師によるキンボール指導

体力つくり:2.5km 校外ランニング

現場実習

■第１学年生徒の週時程表

第1学年

	月	火	水	木	金
1	ライフスキル（自立活動）				
2	LHR	保健体育（体力つくり）			
3	美術	作業	作業	理科	作業
4	ライフキャリア／家庭			総合／情報	
5					
6	音楽	数学	国語／数学	保健体育	
7	社会	国語	委員会		

＊登校時間　　８：３５（月～金）
＊下校時間　　１４：３０（第2・４・５水）
　　１５：３５（月・火・木）
　　（第1・３水）
　　１３：４０（金）＊毎週帰省

■教育課程の特徴

自立と社会参加を目指し作業学習や総合的な探究の時間を充実させ、教育課程の中心に位置付けています。また、本校教育の基盤として保健体育（体力つくりも含む）の充実、ライフスキル（自立活動）の時間における指導を新設して、障がいによる学習生活上の困難を主体的に改善克服することを目指しています。

今年度より、各教科等を合わせた指導の一部を教科別の学習へと教育課程を再編し、より具体的な指導内容を設定・展開するすることで、主体的・協働的に取り組むことができるよう指導しています。

また、生徒間の対話を通して考えること、生徒が自分の思いを表現することや新たな気づきや発見のある授業をとおして、多様な場面に対応できる知識・技能を身に付けるよう指導しています。

すべての教育活動をとおして、生徒が学ぶことと自己の未来のつながりを意識し、一人一人の自立・社会参加につながるよう教育活動を展開しています。

□　総合的な探究の学習
『小平町との関わり』を柱に、「地域を知ろう」「地域を発信しよう」「地域に貢献しよう」のテーマを学年ごとに設定し、地域資源を活用した体験活動、情報発信、交流活動や地域貢献活動を行っています。また、鬼鹿厳島神社例大祭準備や鰊番屋見学などの活動をとおして、地域の歴史や文化に触れ、関心を高め、「地域で生活する力」を育成しています。

木工科
木べら、バターナイフ、スツールなどの多種多様の木工製品の製作を行い、販売会での販売活動を行っています。

窯業科
カップや小鉢、丸皿など多種多様の陶芸製品の製作を行い、販売会での販売活動を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和６年度実績）

□　一般就労　　～　５名
□　福祉的就労　～　１名（就労継続支援Ｂ型）
□　その他　　～　１名（就労移行支援）

学校Webページ

普通科のみを設置する知的障がいの特別支援学校

宗谷管内

北海道稚内養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

□　住　　所　〒０９８-６６４２　稚内市声問５丁目２３番７号
□　問　合　せ　先　ＴＥＬ　０１６２－２６－２２９２
ＦＡＸ　０１６２－２６－２２９３
E-mail　wakkanaiyougo-z1@hokkaido-c.ed.jp
□　学校Webページ　http://www.wakkanaiyougo.hokkaido-c.ed.jp/

■本校の概要

□　学校教育目標
「人々とかかわりながら、社会で役割を担う元気な人を育てる」

□　重点目標
児童生徒の笑顔が増える「学び」と「地域」と「対話」
～社会で活きる力を身に付けるために～

□　概　　要
本校は昭和５２年に小学部、中学部を設置した特別支援学校として開校し、平成１０年に高等部が設置されました。知的障がいを有する生徒のほか、他の障がいを併せ有する生徒も在籍しています。障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域の教育資源を活用した学習を行うなど、卒業後の自立と社会参加を目指した教育を行っています。寄宿舎では将来の生活を見据え、生活年齢や障がいの状況を考慮した指導を行い、基本的生活習慣や社会性の定着を図っています。

■特色ある教育活動

高等部の教育目標
（１）社会生活に必要な知識、技能、態度を身に付け、自分の可能性を伸ばせる生徒
（２）地域の中で自分の力を発揮し、主体的に判断し行動できる生徒
（３）自分らしさを発揮しながら仕事や余暇活動に、積極的に取り組める生徒

【　作業学習　】
縦割りのグループを編制して、上級生が下級生に取り組み方を教えるなど、生徒同士が互いに協力し、学び合う場面を大切にしています。特設作業として、地元企業からの委託作業（ペットボトル砂詰め）や、地域の方々と地元の特産である勇知いも栽培などに取り組んでいます。

【　稚内養護学校☆高等部フェスタ　】
保護者や地域の方に日常の学習の成果を発表する場として、「稚内養護学校☆高等部フェスタ」を行っています。作業学習で取り組んだ木工製品や巾着袋などの縫工製品の販売を行います。

【　総合的な探究の時間　】
進路や交流及び共同学習に関わる体験的な活動の機会を設けています。進路に関わる学習では、年２回職場実習を実施しています。実際の職場で、働くことへの意識を高め、必要な作業能力やコミュニケーション能力を身に付けます。
交流及び共同学習に関わる学習では、外国語指導助手との交流をはじめ、高齢者施設や管内にある高等学校との交流を行います。また、日本最南端にある特別支援学校（沖縄県立八重山特別支援学校）とＩＣＴ機器を活用した交流などに取り組んでいます。

作業学習（木工）

作業学習（縫工）

高等部フェスタ（製品販売）

委託作業（ペットボトル砂詰め）

勇知いも栽培

生徒会選挙

■第１学年生徒の週時程表

【　普通学級　】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導・SHR・自立活動				
2	数学	国語	数学	国語	数学
3	作業	作業	作業	美術	作業
4	作業	作業	ＨＲ	美術	作業
5	日常生活の指導（給食）				
6	保健体育	音楽	日常生活	保健体育	音楽
7	日常生活の指導・SHR			日常生活の指導・SHR	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

・作業学習では、木工と縫工の縦割りによる２グループ編制で学習しています。
・国語、数学、美術は学年を基本とした小グループ編制で学習しています。
・音楽、保健体育は基本的に学部全員で学習しています。

■教育課程の特徴

国語、数学などの各教科の学習や自立活動を中心に教育課程を編成し、知識や技能の習得、余暇の拡大を図る指導を行っています。また、作業学習や生活単元学習、総合的な探究の時間などで、これまで身に付けた知識や態度を実践する機会を設け、働く意味や喜びを知り、卒業後の社会生活をより充実したものにすることを目指しています。

□　教科の学習（国語、数学）
　教科の学習を通して、社会生活で必要な「聞く・話す」「読む」「書く」力を身に付けたり、数量や単位の理解、金銭の扱いや時間の理解を深めたりします。指導に当たっては、少人数のグループを編制しています。

□　日常生活の指導
　卒業後に自分の力を発揮し、自立した生活を送ることができるよう、日常生活に必要な動作や習慣を身に付け、高めることをねらいとしています。

□　自立活動の指導
　教育課程全体を通じた指導の他、毎日１校時は、自分の苦手なことや困難を解決して、自分のできることを増やすために、一人一人の課題に応じた学習を行っています。

＊　登校時間　　８：３５～　８：４５（月～金）
＊　下校時間　　１４：５０～１５：００（月・火・木・金）
　　１４：００～１４：１０（水）

■卒業後の主な進路先について（令和６年度実績）

□　福祉的就労～６名【就労継続Ｂ型３名、生活介護３名】

学校Webページ